

まつばら歴史さんぽ

「史跡・文化財紀行」

歴史と文化にふれる街歩き

松原市域には歴史上、興味深い史跡・文化財が数多く残されています。各街道ごとに“さんぽ”的モデルコースを示しました。それぞれに組み合わせて楽しんでください。

【大阪府、松原市の指定有形文化財】

【大阪府指定有形文化財（本殿）】

【松原市指定有形文化財（布忍八幡鳥居）】

① 布忍神社（ほしのじんじゃ）

新薦善命などが祀られている、大阪府指定有形文化財に指定されている本殿は、江戸時代初期の一段社流造。野村の御子神社を始め、拜殿内の宝永元年（1708）の布忍八幡鳥居は市指定有形文化財（北新町2丁目）。

【大阪府指定天然記念物（いぶきの木）】

② 来迎寺と丹南藤陣屋址（らいこうじ）

奈良時代に寺が創立したといい、話題な仏塔・丹南藩1万石が置かれていた。丹南藩主の菩提寺となり、初代高木正次などの五輪塔がある。境内のいぶきの木は府指定天然記念物（丹南3丁目）。

【松原市指定有形文化財（十一面觀音立像）】

③ 大林寺（たいりんじ）

西院町に榮かる宮町寺がある。融通急正宗、河内西園廟5帝靈場である。市指定有形文化財の平安時代後醍醐の十一面觀音立像を安置する。本尊は古寺跡の由来をもつ忍寺の本尊・北新町1丁目。

【松原市指定有形文化財（教如上人消息）】

④ 久榮寺（くじょうじゅうじゆうじゅうじ）

真宗大谷派。本堂の天井画は狩野天保7年（1836）上棲当時のもの。天正2年（1574）の教如上人消息がある。本堂の天井画は狩野天保を割した教如が大阪合戦時、河内の大門に立ち止ったもの。立田1丁目。



印の神社は「開運松原六社参り社」

開運松原六社参りとは、松原市内6社（大和・美山・天神寺）の氏神である天保7年（1836）に作られた6社の神社を、元日から15日までの間に巡回する行事。期間間に6社を参詣すれば、六社参拝記念の開運干支縁引子を授かる。

⑯ 深居神社（ふかいじんじゃ）

奈良時代の養老元年（717）の創建と伝え、品陀別命（天武天皇）を祀っている。寛延5年（1793）を以めとする多くの船が開運天神に納められている。境内には古式の可能性もある小石塔5丁目。



⑰ 若林神社（わかばやしんじゃ）

品陀別命を祀る。雄略天皇の元弘・建武年間（1331～37）に、深居神社から分祀されたと伝え。若林は戰国時代、戦場の神台となるが、若林神社付近で取材場と見られる。若林1丁目。



⑯ 厳島神社（いつくしまじんじゃ）

弁財天を祀る。境内には一盞が残り、島の建つ西側が方位で、東側の本殿が小高い丘丘上に建つことから、古紀以前の南の御守御所ではないかと推測される。嚴島神社前に御守御所の南の御守御所（約7m）。



⑰ 北山橘庵墓（きたやまきつあんぼ）

北山崎（1731～91）は津屋崎の守護である丹南藩主や丹山藩主・岸田藩主の診察をした漢学者・渕源人として有名。北山・京の墓が並んでいる。北山（津屋）5丁目。



⑯ 田中家住宅（たなかけいじゅうたく）

高見の里3丁目に所在する田中家住宅は、明治初期の建築で、天地区の堀之内・寺内・油池・波の氏の、明治初年まで天神寺があった。行基高僧安住之地との説がある。



⑮ 阿麻美許曾神社（あまこそじんじゃ）

高見の里3丁目に所在する阿麻美許曾神社は、平安時代の天平5年（924）の創建といい、道祖神として、道貫が九州の八家奉行へ赴く時に立ち寄り、手を掛けたといい神形がある。境内の梅が有名。古墳時代の佐原屯兵の墓地がある。三毛4丁目。



⑯ 阿保保神社（あほほじんじゃ）

平安時期、51代平安天皇の皇子の阿保親王が、当地に住んだので阿保の地名がある。神社は源真貴を祀る。本殿裏の木の阿保親王お坐像と伝えられ、樹齢1100年といい。阿保5丁目。



⑯ 热田神社（あつたじんじゃ）

日本最古を祀る、社号標柱の「热田神社」は大正8年（1919）。大師の著者名を祀る柏原院院主の藤原南岳の石碑。石鳥居の西側に江戸時代のカリタントランプが残る。熱田5丁目。



⑯ 中山家住宅（なかやまけいじゅうたく）

別所6丁目に所在する中山家は、江戸時代に上郡の大農庄をつくり、近世初期の農業經營地を形成する家の屋敷様の様子がよく理解できる重要な建造物。主屋は文化2年（1805）の建物。



⑯ 大堀八幡神社（おほほちばんじんじゃ）

南北朝時代の建武4年（1337）、小川の深居神社から分祀されたと伝え、別院別院（御天神天）を祭神としている。2015年6月、大和川に近い健康地帯から現地の大堀3丁目に移築搬入され。



各住宅は、街でもお住いですので、敷地及び建物の見学はできません。